

# 世界に広がる大気社

大気社は海外18か国に35社のグループ会社を展開しています。



## 拠点紹介



### Encore Automation LLC (オンコア オートメーション)

1981年の設立以来、大気社アメリカでは現地に根ざした事業活動を推進し、自動車塗装工場で多くの施工実績を重ねてきました。近年、北米の自動車メーカーでは、従来の一括発注ではなく、塗装設備、コンベヤ、オートメーションなど、パッケージごとに工事を発注するケースが増えています。これを受け、大気社アメリカではオートメーション事業の拡充を目的に、2014年、ロボットを利用した自動塗装システムのエンジニアリング会社であるEncore Automation LLC(以下オンコア社)と業務・資本提携を行いました。オンコア社は、自動車塗装の分野で「粉体塗装」という業界有数の技術を有しており、北米ではフィアット・クライスラー、ゼネラル・モーターズなどの顧客に対し、数多くの納入実績を誇ります。また、航空機塗装に関しては、ボーイング社をはじめとした航空機メーカーを主要顧客としているため、当社グループとは市場面や技術面での強みを相互に補完することができます。今期には大気社アメリカがオンコア社のすべての株式を取得し、100%子会社となりました。



## FOCUS

世界的な旅客数の増加や、高性能で燃費の良い航空機への代替需要を背景に、航空機産業におけるジェット機は増産傾向にあります。このような動きを見据え、当社グループの塗装システム事業では、自動車以外の航空機を中心とした新分野での事業拡大に挑戦してきました。特にオンコア社との業務・資本提携後には、国産初のリージョナルジェット機「三菱スペースジェット」の塗装工場プロジェクトを受注するなど、徐々に活動の成果が表れてきています。今回の株式取得を機に、当社は航空機塗装のさらなる自動化に取り組み、グローバルに展開を進めていきます。



# 株式会社 大気社

証券コード:1979

環境をつくる技術は、未来をつくる技術。



この写真は、大気社の海外拠点があるアメリカの世界遺産、グランド・キャニオン国立公園です。アメリカの拠点については、裏表紙をご覧ください。



〒160-6129 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー  
TEL:03-3365-5320(代) FAX:03-5338-5195  
<https://www.taikisha.co.jp>



第75期  
第2四半期

# 株主通信

2019.4.1 ▶ 2019.9.30



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび当社第75期第2四半期連結累計期間（2019年4月から2019年9月まで）を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

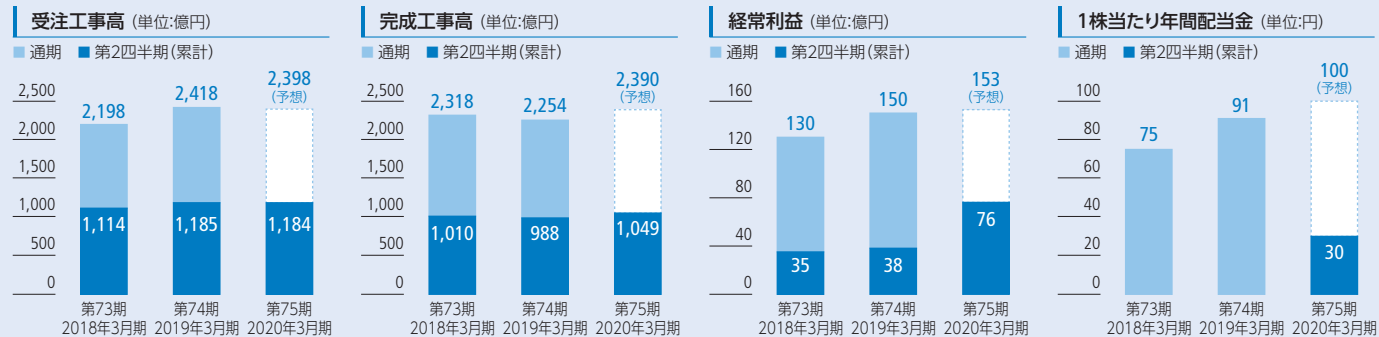
加藤 孝二

### 当第2四半期連結累計期間の事業環境について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用情勢の改善などを背景に個人消費は堅調に推移したものの、製造業の設備投資が手控えられたことなどにより減速傾向となりました。また、欧州でも英国のEU離脱をめぐる混乱や、企業業績の悪化等により減速傾向となりました。アジアでは中国において、米中貿易摩擦の影響による企業の設備投資や個人消費の減少により減速傾向が続き、全体として景気の減速感が強まりました。日本経済は、雇用・所得環境の改善などにより個人消費は緩やかに回復しましたが、海外経済の状況を背景に輸出は力強さを欠き、全体としては横ばいで推移しました。

当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場は米中貿易摩擦などの影響による不透明感が続いているものの、電子部品メーカーなどによる投資や、首都圏におけるオフィスビルの建設投資など、需要は好調に推移しました。一方、海外市場は、景気の減速感が強まっているものの、北米においては自動車メーカーによる需要が好調に推移しました。

### 業績ハイライト



### 当第2四半期連結累計期間の業績について

大気社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績について、受注工事高は、海外は増加したものの国内で減少し、1,184億49百万円(前年同期比0.1%減少)となり、うち海外の受注工事高は、518億27百万円(前年同期比20.9%増加)となりました。

完成工事高は、海外は減少したものの国内で増加し、1,049億73百万円(前年同期比6.2%増加)となり、うち海外の完成工事高は、407億1百万円(前年同期比7.0%減少)となりました。

利益面につきましては、前年同期は塗装システム事業において採算が悪化した影響がありましたが、当第2四半期連結累計期間の完成工事総利益は177億78百万円(前年同期比42億45百万円増加)、営業利益は75億60百万円(前年同期比41億64百万円増加)、経常利益は76億79百万円(前年同期比38億2百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は53億71百万円(前年同期比44億61百万円増加)となりました。

### 新中期経営計画の進捗について

2020年3月期から2022年3月期までの3か年における当社グループの中期経営計画の進捗について、ご報告申し上げます。当社は今後もすべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、経営目標達成のために全力を尽くしてまいります。引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

戦略	進行中の主な取組み
付加価値の向上 ～省エネ・省コスト・環境対応技術や自動化技術など	高塗着効率塗装システムの開発・商品化 CO <sub>2</sub> 削減につながる、高塗着効率塗装システムの開発・商品化を推進中。
研究所の拡充・活用 ～技術開発力の強化と技術の見える化による提案力の強化	技術開発センター(愛川)の実証センター化 環境システム事業関連技術の顧客への提案を行う見学施設として再構築を検討中。
IoT・AIなどを活用 ～新たなソリューションの開発推進	IoT・AIを活用した工場の予兆保全システムの開発・事業化 IoT・AIを活用して稼働停止や品質不良発生時の要因解析を行うシステム[i-Navistar]の導入拡大に向け営業活動推進中。
生産性向上	図面作画・積算業務の自動化システムの開発 図面の自動作画や自動積算のシステムを開発中。
新規事業の拡大 ～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など	植物工場自社工場建設 植物工場の量産・自動化技術の確立と実証、そして顧客への提案を行う施設の設定を検討中。 航空機・鉄道車両向け自動研磨装置の開発・事業化 初プロジェクトの受注に向けた営業・技術実証活動を推進中。
未進出国への事業エリア拡大	未進出国への拠点設立の検討 今後の投資が期待できる地域への新規拠点設立を検討中。
人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策	介護や育児に関わる休暇制度の見直し 休暇期間の延長や必要な時に必要な休暇が取得できるような仕組みづくりを検討中。 テレワークの導入 在宅勤務やモバイルワーク、サテライト勤務など、テレワークを導入することにより、時間の効果的な活用とともに、休職中や既に退職している方への就労機会を提供する仕組みづくりを検討中。
多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強	多様な人材の採用と活用 女性活躍を推進すべく、ライフイベントに応じた柔軟な休暇・休職の取得や復職後の職務訓練指導を実施。また、政府が推進する70歳雇用への対応について検討中。
コーポレート・ガバナンス体制の強化 ～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など	資本コストや資本・配当政策に関する検討の深化 企業価値向上を目指し、資本コストを意識した経営や資本・配当政策に関する検討を推進中。
国内外における内部統制体制の強化	ITに関わる内部統制体制の強化 グループ全体のITを健全に維持・監督する内部統制体制の強化に向けた対応を検討中。
グローバルなリスク管理体制の拡充 ～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど	グローバルな情報セキュリティ対策の強化 海外子会社における情報セキュリティ対策の強化を検討中。



## 環境システム事業部

経営資源の重点配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

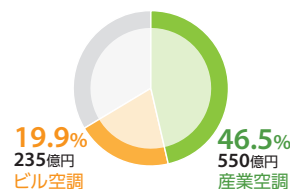
当事業部は、グリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。

産業空調分野では、第5世代移動通信システム(5G)や自動車の電装化に合わせ、電子部品を中心とした関連企業の設備投資が継続すると見込んでいます。また海外市場では、米中貿易摩擦の影響等によりサプライチェーンの見直しを考えられ、新たな投資が発生する可能性があります。

一方、ビル空調分野では、オフィスビル需要は当面ゆるやかに縮小する可能性があるものの、旧耐震基準のビルの建て替え・リニューアル、再開発等のニーズは存続するため、長期的には底堅く推移するものと予想されます。

今後の取り組みとしては、研究所の拡充・活用により技術開発力を強化し、技術を見える化することで、お客さまへの積極的な提案活動を推進します。また、植物工場事業をはじめとした新規事業や、海外市場で今後投資が期待できる未進出国への事業エリア拡大など、事業領域の拡大を目指していきます。

● 環境システム事業部受注高  
累計期間:2019.4.1~2019.9.30



## Green Technology System Division

京都駅前に「THE THOUSAND KYOTO」が開業

2019年1月、京阪グループのフラッグシップホテル「ザ・サウザンド キョウト」が開業しました。個人にとっての豊かさ・心地よさの提供をコンセプトにした施設には、禅の思想と京都の知恵、日本の美学が生きる多様な客室が備えられています。当社が請け負った空調設備は、ホテルの快適な空間の演出に一役買っています。



## 塗装システム事業部

経営資源の重点配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

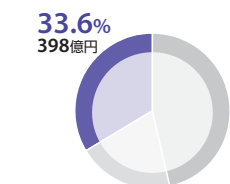
当事業部は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。

自動車塗装分野では、北米・欧州・日本などでは設備更新投資、中国・インドなどでは増産投資が見込まれており、需要は底堅く推移すると見えています。また、EV化・自動運転技術の進展・自動車のAI化により、メーカーの投資動向が変化する可能性があります。

今後の取り組みとしては、成長性が見込まれる事業分野や市場に対して経営資源を重点的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

また、海外グループ会社との連携や研究所の拡充・活用により、非日系自動車メーカーのニーズへの対応力強化や、航空機・鉄道車向のような自動車以外の塗装設備事業など、事業領域の拡大にも積極的に取り組んでいきます。

● 塗装システム事業部受注高  
累計期間:2019.4.1~2019.9.30



## Paint Finishing System Division

フィアット・クライスラー  
トレド工場生産能力増強工事が完了

米国でのSUV人気の高まりを受け、フィアット・クライスラー・オートモービルズは、2019年9月、トレド工場において、「ジープ」ブランド塗装ラインの生産能力増強工事を完了させました。当社グループが施工した塗装ブースでは、粉末状の塗料を水を使わず静電気で車体に吸着させる技術を採用し、工場の廃水を低減しました。



## UAEの気候変動・環境大臣が「ベジファクトリー」を見学

当社で展開している完全人工光型・水耕栽培植物工場システム「ベジファクトリー」は、これまで世界初の結球レタスの安定量産化や、生産から販路に至るまでを一貫して支援するサービスなどを提供してきました。

現在は国内外に2か所の実証開発施設を有し、顧客ニーズへの対応や認知度向上に努めています。特に、国内における板橋実証開発センターは、大気社ブランドの量産栽培の紹介や栽培環境を変えて行う品質改善、量産技術、新商品開発などの実証に対応しており、開設以来、各方面からの引き合いが増加しています。

2019年7月には、日本の先進的な農業を見学したいとの要望から、UAE(アラブ首長国連邦)の気候変動・環境大臣が来訪されました。世界的に懸念されている気候変動の影響を受けずに、農作物を安定的に栽培で

きる「ベジファクトリー」の説明を受けた一行は、大いに関心を持たれた様子でした。

当社は今後も「エネルギー・空気・水」に関わるエンジニアリング企業として、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

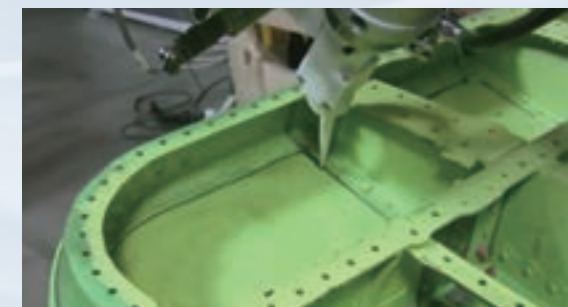


## 労働環境の改善に寄与する、航空機向けロボットシーリングシステム

航空機の製造工程では防水性や気密性を保つため、部品を接合する際、継目や隙間にペースト状の合成樹脂を充填する作業があります。これはシーリングと呼ばれ、従来は人手による作業が主流でしたが、近年の航空機需要の増加を背景に自動化のニーズが高まっています。

当社の海外グループ会社であるEncore Automation LLC(以下オンコア社)では、こうした動きに先駆け、航空機市場に向けて「ロボットシーリングシステム」を開発しました。米国での航空機製造工程に新たに導入を目指している本システムは、常温で硬化が始まるシーリング材をカートリッジごと冷凍保存し、それらを適温に解凍後、ロボットに装着して自動で充填を行うものです。

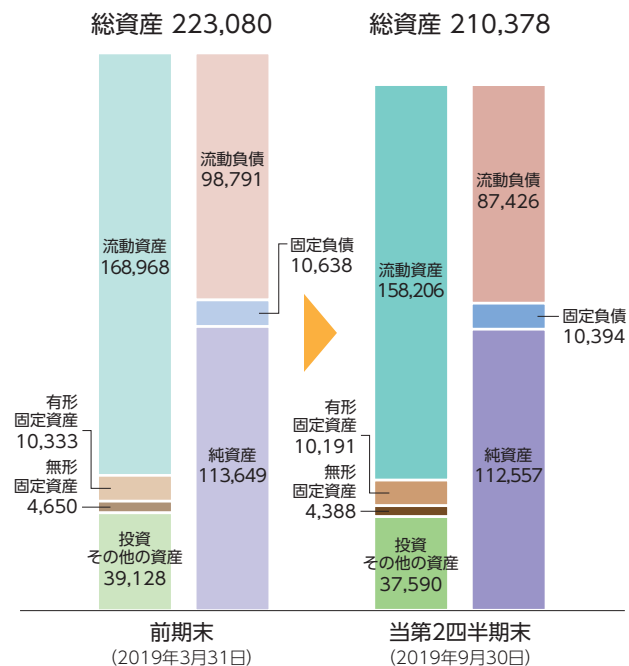
これにより作業員の労働負担を軽減し、安全性を確保するとともに、シーリング工程における品質の安定化を実現します。オンコア社では、今後も長年培ったオートメーション技術を活かし、革新的な技術を展開していきます。



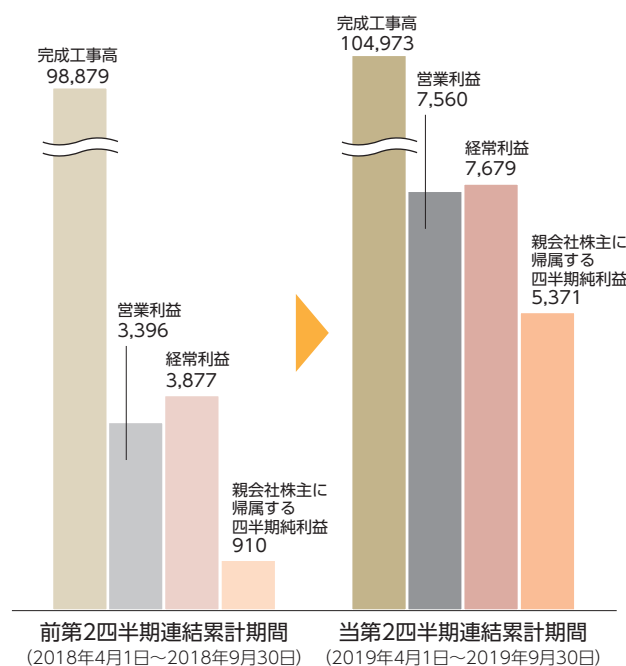


# 連結財務諸表

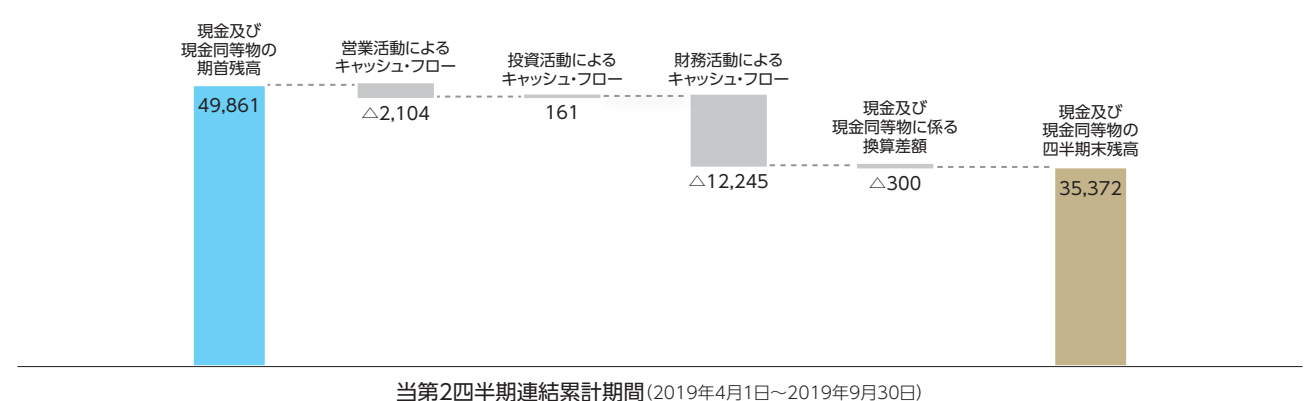
### 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



### 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



# 株主情報

### 会社概要 (2019年9月30日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)  
 創業 1913年4月10日  
 設立 1949年7月7日  
 資本金 6,455百万円  
 従業員数 (個別) 1,493名 (連結) 4,769名  
 グループ企業、取締役および監査役、株式情報については下記URLにてウェブサイトをご覧ください。  
 【グループ企業】  
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/group/index.html>  
 トップページ > 企業情報 > グループ企業  
 【取締役および監査役】  
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/officer.html>  
 トップページ > 企業情報 > 役員紹介  
 【株式情報】  
<https://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info.html>  
 トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

### 株主メモ

証券コード 1979  
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社  
 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。  
 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

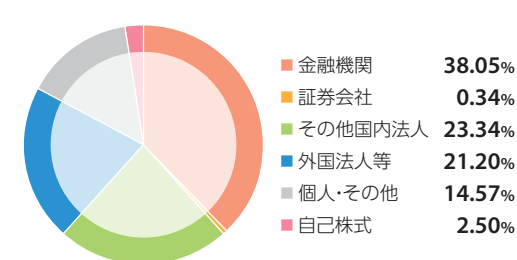
### 株式状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 35,082,009株  
 株主数 2,946名

### 大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,460	10.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,115	6.18
株式会社建材社	1,730	5.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,375	4.02
大気社協力会社持株会	1,024	3.00
株式会社第二建材社	1,000	2.92
住友不動産株式会社	981	2.87
ザバンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	947	2.77
大気社社員持株会	913	2.67
日本生命保険相互会社	866	2.53

### 所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1.当社は、自己株式876,976株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。  
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 3.「持株数」は千株未満を切り捨てて表示しております。